うつくしく
枝はなし
梅の花
芹舎

志ら梅や月のさし
なから風もなく
霞洋

初よりも二た嬉し福寿草
可有

不足なき我の萬清や春の風
笹丸

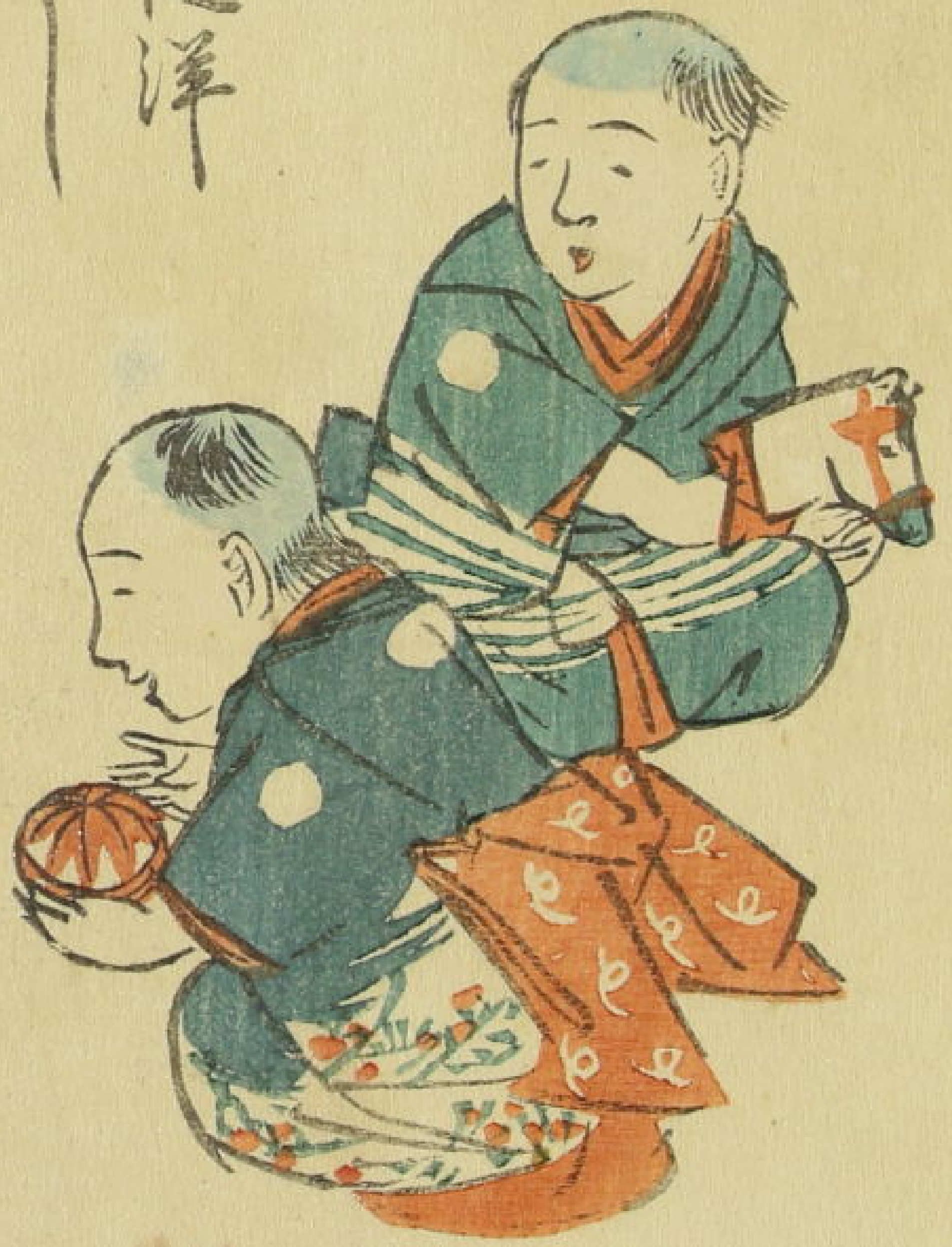
あめつちを手すりに為し可有の
主人ありて辰の年は寿ふ起
まり

せきもきも尾は宇に要し花の春
柳玉

ましくきむき風に芽をふく柳卯、

高ふるし表さきよりのよそ比梅、

辰春



東甫